

3 エイズ予防事業

(1) エイズ予防啓発活動実施状況

ア 講演会・講習会等開催状況

表 3 - (1) - ア 講演会・講習会等実施状況

(単位：人)

実 施 日	場 所	活動内容	テ ー マ	対 象	参加 人数
平成 25 年 10 月 11 日	千葉県立 市川南高校	講 演 会	性の健康管理を学ぶ 講師 国立国際医療センター 国際 感染症センター感染症対策専門職 堀 成美	1 学年及び 教員	341 人
平成 25 年 10 月 25 日	市川市立 塩浜中学校	講 演 会	青少年に対するエイズ等性感染症対 策講習会 講師 エイズ専門相談員 石川雅子	全校生徒及び 教員	174 人
平成 25 年 11 月 18 日	市川市立 第四中学校	講 演 会	思春期の性と命の大切さ 講師 開業助産師 加藤 睦	3 年生及び 教員	210 人
平成 25 年 12 月 16 日	浦安市立 見明川中学校	講 演 会	性感染症・エイズについて 「自分の 未来のために～自分の心とカラダ」 講師 医師 高瀬 幸子	2 学年及び 教員	120 人

イ 街頭キャンペーン等開催状況

表 3 - (1) - イ 街頭キャンペーン等開催実施状況

年 月 日	主 な 内 容
平成 25 年 5 月 30 日	管内中学校・高等学校にエイズ啓発用リーフレットを配布 (7540 部)

(2) エイズ相談受付状況

表 3 - (2) エイズ相談受付状況

(単位：件)

性別 年度 年齢階級		相談方法	男	女	小 計	合 計
平成 23 年度		電話相談	34	9	43	632
		来所相談	401	186	587	
		その他	1	1	2	
平成 24 年度		電話相談	49	17	66	523
		来所相談	320	137	457	
		その他	0	0	0	
平成 25 年度		電話相談	15	15	30	334
		来所相談	199	105	304	
		その他	0	0	0	
年 齢 階 級	～19 歳	電話相談	0	0	0	9
		来所相談	5	4	9	
		その他	0	0	0	
	20 歳～29 歳	電話相談	4	0	4	123
		来所相談	73	46	119	
		その他	0	0	0	
	30 歳～39 歳	電話相談	0	0	0	108
		来所相談	68	40	108	
		その他	0	0	0	
	40 歳～49 歳	電話相談	0	0	0	46
		来所相談	38	8	46	
		その他	0	0	0	
	50 歳～59 歳	電話相談	0	0	0	13
		来所相談	8	5	13	
		その他	0	0	0	
	60 歳～69 歳	電話相談	1	0	1	8
		来所相談	6	1	7	
		その他	0	0	0	
	70 歳～	電話相談	1	0	1	3
		来所相談	1	1	2	
		その他				
	不 明	電話相談	9	15	24	24
		来所相談	0	0	0	
		その他	0	0	0	

(3) H I V抗体検査他性感染症検査

表 3 - (3) H I V抗体検査他性感染症検査受付状況

(単位：件)

性別 年度	H I V抗体検査			クラミジア抗体検査			梅毒血清検査		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
平成 23 年度	582	397	185	508	349	159	509	344	165
平成 24 年度	457	320	137	403	280	123	405	281	124
平成 25 年度	297	194	103	268	170	98	268	170	98

※平成 25 年 2～10 月は仮庁舎のため検査は実施していない。

(4) エイズ相談内容の状況

表3- (4) エイズ相談内容の状況

(単位: 件)

相 談 者 の 区 分	男 性	女 性	合 計
同性間性行為による感染を心配する者	20	0	20
異性間性行為による感染を心配する者	176	108	284
その他の性行為による感染を心配する者	2	0	2
輸血による感染を心配する者	2	1	3
家族、友人の感染を心配する者	2	2	4
母子感染を心配する者	1	2	3
医療機関内感染を心配する者	3	1	4
日常生活での感染を心配する者	5	3	8
一般的なエイズに関する知識、情報を求める者	3	2	5
その他	0	1	1
合 計	214	120	334

相 談 内 容	男 性	女 性	合 計
エイズウイルス・疫学に関すること	23	22	45
患者・感染者の発生状況に関すること	40	31	71
症状・発生機序に関すること	57	38	95
検査に関すること	126	59	185
診断 (方法)・治療に関すること	46	31	77
感染経路に関すること	28	22	50
社会の差別や偏見に関すること	15	10	25
行政のエイズ対策に関すること	19	13	32
エイズ予防法に関すること	15	13	28
その他	12	12	24
合 計	381	251	632

相談者のうち外国人の人数	男性 1	女性 0	合計 1
--------------	------	------	------

(5) 肝炎ウイルス検査

表3- (5) 肝炎ウイルス検査受付状況

(単位: 件)

年度	性別	C 型 肝 炎 抗 体 検 査			B 型 肝 炎 抗 原 検 査		
		計	男	女	計	男	女
平成 23 年度		506	339	167	509	341	168
平成 24 年度		416	286	130	415	284	131
平成 25 年度		265	165	100	264	166	98

※肝炎対策事業として早期発見を目的に、平成 18 年 11 月から肝炎検査を実施している。

※平成 25 年 2～10 月は仮庁舎のため検査は実施していない。

(6) 肝炎治療特別促進事業

平成 20 年 4 月 1 日から、「千葉県肝炎治療特別促進事業」として、B 型・C 型肝炎に対するインターフェロン治療への公費による助成制度が開始。平成 22 年 4 月 1 日からは、B 型肝炎に対する核酸アナログ製剤治療が公費による助成対象として追加された。また平成 23 年 12 月 26 日からは C 型肝炎に対するインターフェロン 3 剤併用治療が公費による助成対象として追加された。平成 25 年 12 月 4 日から C 型肝炎に対するインターフェロン 3 剤併用療法にシメプレビルが助成対象として追加された。

B 型ウイルス性肝炎及び C 型ウイルス性肝炎の治癒を目的として行う核酸アナログ製剤治療及びインターフェロン治療に関する申請書の受理及び医療費の一部について償還払いを行った。

表 3－(6) B 型・C 型肝炎に対するインターフェロン治療、B 型肝炎に対する核酸アナログ製剤治療、C 型肝炎に対する 3 剤併用療法の公費負担に係る申請状況

	申請者(人)			療養費申請者(人)		
	インターフェロン	アナログ	3 剤併用	インターフェロン	アナログ	3 剤併用
平成 23 年度	49	135	12	35	26	—
平成 24 年度	52	169	18	26	22	15
平成 25 年度	34	185	19	23	21	3

22 年 4 月 1 日 運用変更

- 1 自己負担限度額の引き下げ
 - ・ 原則 1 万円（市町村民全課税年額が 23 万 5 千円以上の世帯は 2 万円）
- 2 助成対象の拡大
 - ・ B 型肝炎に対する核酸アナログ製剤治療を助成対象として追加
- 3 制度利用回数の規制緩和
 - ・ 一定条件を満たす者について 2 回目の利用を認める

23 年 12 月 26 日 運用変更

- 1 助成対象の拡大
 - ・ インターフェロン 3 剤併用療法を助成対象として追加

25 年 12 月 4 日 運用変更

- 1 助成対象の拡大
 - ・ インターフェロン治療 3 剤併用療法にシメプレビルを助成対象として追加